

健康平和研究

22年第1章 歩み・根本転換へ

根本転換宣言 1 日本社会こそ 6 〈地球協同社会へ〉 10 初心の想ひ 13 TQ、しませんか？ 14 ツイッター解禁 16

22年11月15日号より

(や=山田 学) [☆☆根本転換宣言☆☆
☆今の地球と日本は、究極の、異常な状況。
さう、感じませんか。]

山田 学が、この状況を、根本転換させていただきます。そのために50年間、地道に、〈眞智〉(健康平和な、現実の認識)を、追究してまわりました。戦後の日本社会は、地球の他の社会に無い、特異な思想状況に、ある。山田 学は、そのなかにて生活させていただきつつ、右翼系と左翼系の究極の論理対話と、その解決も、すでに成し遂げてをります。根本転換は、日本民族の、縄文時代からの底力を、編成し、結集することにより、成る。そしてこの根本転換は、日本国の新発想の政治勢力により、保護され、推進される必要がある。ある政党が、〈国防〉以前に、〈国まもり〉と規定し、〈国民ひとりひとりの国まもり決意〉こそを、その起点とした。日本国民ひとりひとりが、しだいに、次の決意表明をしていつては、どうでせうか。]

(決意表明) [わたくしは、〈国まもり〉についての自分の勉強段階なりに、また、自

分の生活や生産の特殊性から、このやうに、
わが愛する日本国を、まもります!!]

(や) [JOMONあか데미などにおける、わたしの文章の多くが、難解なのは、理由があります。

わたしは、19世紀ドイツのヘーゲルやマルクスの時代に比べ、20世紀以降の人間社会に、もっとも欠けてゐるのは、事物の本質把握能力であると、考へてをります。

ですから、わたしは、その能力の復興を、体现すべく、〈眞剣に腰をすゑ、何度も何度も味読してこそ、しだいに理解できてゆく文章〉が、多いのです。

文章はこのままとし、これの解説と討論については、実は、わたし流の柔和な語り口にて、有償販売を、考へ始めます。

たとへるなら、わたしは〈眞智〉を追究しつつ、山奥へ、山奥へと、入り込み、里の人のところとからだから、少し、離れました。里の人のところとからだの、代表の方から、「山田さん、そんな説明ぢやあ、かういふことが、わからんぞ!!」と、鋭く、突込んでいただく。

「里の方がたは、さういふところにて、前へ、進めなくなつてをられるのですなあ…」なんぞと、山田が、とぼけつつ、解説と討論に、努めてゆく。そんなかけあひを、動画配信や、ネット面会や、実面会にて、有償販売させていただきます。みなさま、耳を傾けてくださりませうか。むろん、〈0から出発し、段階を踏みつつ、ますます信用と売上をいただいて

ゆく。さういふ、オンリーワンのビジネスモデル。〉として、計画させていただきます。元となる、難解だが、オンリーワンの、JOMONあか데미「店頭」画面内の文章は、次の4本です。

〈悦びへの伝言〉

有益さ主張 http://www.jomaca.join-us.jp/dengon_fine.pdf

本文 (5枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/dengon.pdf>

〈地球協同社会へ〉

有益さ主張 http://www.jomaca.join-us.jp/chikyu_fine.pdf

本文 (19枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/chikyu.pdf>

『原始の普遍信仰について』

有益さ主張 http://www.jomaca.join-us.jp/genshi_fine.pdf

本文 (6枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/genshi.pdf>

〈TQ、しませんか?〉

有益さ主張 http://www.jomaca.join-us.jp/tq_fine.pdf

本文 (10枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/tq.pdf>

これらの解説と討論が、日本社会にて、日本民族流のコミュニティや、新しい成長分野 (主に、中小企業連合) へ、ひとつの起点と、なりはしないでせうか。

諸個人の自立と協同。諸民族の自立と協同。さういふ理想へ。

ひとりひとりが自身の体内に注意しあふことを、すべての起点とする。これは、沖 正弘師 (1919~1985) のヨガの原理です。

日本は、敗戦により、良い意味にても、悪い意味にても、多くの日本人の生活の軸であつた、皇国史観教育が、無に帰しました。代りに、欧米のキリスト教教育が、成立したわけ

ではない…
戦後のバブル崩壊までは、〈さしあたり、GDP増大闘争こそが正しいのだ…〉といふ、一種の信仰により、〈日本民族の道德空白問題〉が、ごまかされてきました。

わたしは、戦後にふさはしい形態にて、〈日本民族の道德空白問題〉を解決するには、沖ヨガが最適であると、判断いたしてをります。山田 学の、今までの半生の、自然な延長として、わたしには、次の、忍耐と細心さに、自信があります。〈地球協同社会へ〉、あらゆる機会を、徹底し、待たせていただく、忍耐。そのあらゆる機会を、徹底し、活かせていただく、細心さ。

わたしどもの仕事は、人民に仕へる事です。地球の全人民は、〈地球協同社会へ〉、運動仲間と、みなさせていただきます。

以上のやうな、解説と討論を、先行させていただいた上にて、わたしが父から継いだ、TQ技術運動を、展開させていただきます。

TQ技術は、日本社会にて、ものづくりを、ひろく深く、進化させる道です。〈諸生理を調整するための、物性加工における、根幹技術〉です。〈氣功の工業化＝アジア診療と欧米学問の接点〉です。

(ツイッターアカウント)=TQ展開 (山田 学)
@tqtenkai <https://twitter.com/tqtenkai> の、固定ツイートにある、動画と文章が、基礎情報です。

TQ技術に接し、17世紀からの欧米学問の立場

からは、一種の不思議さを感じることは、むしろ、本質的であると、思ひます。

ただし、これを安易に販売するために、不思議さを前面に出し、お客を煙に巻くことは、わたしの性格からも、厳に、慎んでまゐりました。

世界の学界向けには、〈酵素活性場〉〈生命促進性〉といふ、新概念を、提唱させていただいてをります。

TQ技術運動には、実は、どんな大商社も、経験したことがないほどの、総合性があります。近くに予想される、地球経済大転換後、次世代型の、根幹技術なのです。ICT (情報通信技術) の、次であり、ICTよりは、日本民族の感性に、なじみやすい。大企業ではなく、自主的な、個々人や、中小企業群の、連帯へ。TQ技術 (氣功の工業化) に、それが要請する、縄文るねっさんす＝地球協同運動の告知こそを、重ね合せた、唯一の、象徴的商品!!

さういふ、〈TQ中央商品〉を、目下、開発してをります…。

思想の崇高さ(!)が、〈TQ自由商品〉とは、区別されます。

以上のあり方にて、山田 学が、今の地球と日本の、究極の、異常な状況を、根本転換させていただきます。みなさまからの、あらゆる貴重なご助言は、上記ツイッターアカウントの、ダイレクトメッセージに、お寄せいただけますか。]

(や) [☆★日本社会こそ★☆☆あけましておめでとうございます。

これから、5～10年、着実かつ賢明かつ大胆な、時間の使ひ方をしたい、ものです。

今月のJOMONあかのみいサイトは、まづ、〈悦びへの伝言〉を、公開いたしました。(「店頭」画面)

有益さ主張 www.jomaca.join-us.jp/dengon_fine.pdf

本文 (A4 5枚) www.jomaca.join-us.jp/dengon.pdf

2018年5月公開 ^祈〈いのる〉の、全面更新です。

あと5～10年で、いよいよ、資本制人間社会は、終る。

地球大転換に備へる、根源からの祈り。

それが、〈悦びへの伝言〉です。

ひとりひとりの意識、それこそが、起点です。

この数千年間を、否定する。国家に、とらはれるな。

病的戦争な、現代社会を、自然に、治癒させあひませう!

さて、この、〈悦びへの伝言〉を、どんどん、どんどん、ひろめていただけませんか?

なほ、本稿を、公開させていただくに、至りました、すべての、尊き尊きご恩に、お肚^{なか}の底から、感謝させていただきます。

わたしどもは、地球の未来への希望は、わが日本社会こそが、起点となる、といふ思想です。

2015年ごろから、わたしどもは、増田^{えつすけ}悦佐先生の諸著作にも、注目してをります。米国に

て歴史学・経済学の博士課程修了後、ニューヨーク州立大学助教授もされてみた方です。さういふ米国体験もあり、日本インテリにありがちな、欧米崇拜とは、正反対の方です。その増田先生が、2021年11月に、『日本再興世界が江戸革命を待っている』（ビジネス社）を、公刊されました。]

（『日本再興』320ページより）「なぜか1000年に一度の大きなうねりで、世界中で権力の集中から分散への激変が起きる。最初は紀元前20年から紀元30年、二度目は980年から1030年だった。集中に向かう圧力が強ければ強いほど、分散に転じたときの混乱も大きくなる。

ふしぎなことに日本はこの混乱期に世界史から消えることで、うまく平和を保ってきた。最大の理由は、つねに自然災害と闘いつづけてきた縄文時代に日本人が身につけた戦争回避本能とも言うべきものだろう。最近の世界情勢を見ると、1980～2030年も前の2回に負けず劣らず、大混乱になりそう。今回はさすがに世界史から消えることができなかつたから、危ないと思われる方もいらっしゃるだろう。だが1990年にバブルが崩壊してから日本が経験した「失われた30年」は、時勢に合わせた世界史からの消え方だったのではないだろうか。

そして今回もまた日本は世界各地で起きる混乱の被害を最小限にとどめることに成功するだろう。最大の理由は権力が弱くなら

しなく、大衆が強たくたくましいからだ。]
(や) [今の日本マスメディアに、ほとんど登場しない見識を、増田先生はお持ちですが、わたしどもは、賛成です。]

(同263～264ページより) [これから先10年、20年、50年、100年を見通せば、悠々と我が道を行けばいいのが日本だ。必死に日本のマネをしなければ生き残れないのが、欧米であり中国なのだ。モノよりコトが消費者需要のシェアを高めるにつれて、日本経済はますます優位に立つ。さらにバブル崩壊後の「失われた20年」でさえも、株にも不動産にも手を出していなかった多くの日本国民の家計はほとんど無傷だった。

愚鈍な知的エリートと賢い大衆が共存するからこそ、日本はサービス業主導経済で最強国となる。サービス業主導経済で起きる最大の変化は、企業の小規模化と意思決定機能の分散だからだ。「知的エリートが無知な大衆のために考えてやる」社会ではなくなる。主義主張という大きなストーリーより、趣味趣向という小さなストーリーのほうが企業の盛衰も生活の豊かさも決定する世界になる。]

(や) [今、注意すべきことについては、次のご指摘です。]

(同285ページより) [企業はムダに利益を拡大したり、内部留保や手元流動性を積み上げたりせずに労賃を上げ、労働環境を改善することにそのカネを遣うべきだ。それがサ

ービス主導・消費主導のこれからの経済を活性化させる王道なのだから。]

(や) [次の引用冒頭の「この情けない世界情勢」については、説明を省きますが、日本社会こそが、起点となる、といふご主張です。]

(同218～219ページより) [この情けない世界情勢を見るにつけても、日本の大衆に課せられた使命は大きい。哲学者N.P.ジェイコブソンは著書『ジャパン・ウェイ 日本道』で、世界中見渡しても「そのときどきのデータに応じて最善の答えを出す、データが変わるにつれて自分の意見も変えていく『自己修正的共同体』を形成しているグループは、ふたつしかない」と断言した。

ひとつはあらゆる公理や定理にとらわれることなく、日々もっと単純明快に世界を理解できる方法はないかと切磋琢磨している国境を越えた一流の自然科学者たちのコミュニティだ。もうひとつは日本の大衆だと言っている。さらに「はっきりした信仰体系にゆだねられていない」ことこそ、日本の最大の強みだと断言している。

(中略)

いまや自然科学者たちのコミュニティが、必ずしもそのときどきで最善の答えを出す集団ではなくなっている。それより、なるべくたくさん研究費の取れる答えを出すようになってしまったのだ。

だからこそ地球上に今も存在する唯一の自己修正的共同体を形成している日本人は、

世界全体のために大きな貢献をしなければ
ならない。その準備はできているだろう
か?]

(や) [わたしどもが今月公開の〈悦びへの伝
言〉2ぺに、〈不断修正人生〉を、ご提案して
をります。増田先生が言はれる、世界史的準
備のひとつと、なつてをりますでせうか。

さて、なぜ、江戸革命なのか、については、
直接、増田先生のこの著を、お読みください。
この著のカバー写真は、日の出のデザインで
す。]

22.6.15.より

(や) [☆☆☆〈地球協同社会へ〉☆☆☆資
本制社会の混乱は、遠くない。

今、だれかれを批判するより、次の社会を、
まともに展望することが、喫緊の課題ではな
いのか!?

かの、マルクスは、かなりの部分が、正しか
つた。が、今こそ、かれの誤りの部分と、大
きな不足について、論ずべきではないのか!?
ヒロシマ、ナガサキから、約10年後、日本社
会にて、生誕をいただいた、山田 学。

資本制社会の、問題解決のため、なににも、
とらはれず、前向きな情報を、ていねいに、
拾ひ集め、何年も、何十年もかけ、編集し、
論理整理できた。

今ここに、〈超然の想ひ〉が、ごく自然に、
創造された…

(今月のJOMONあかでみいサイト「店頭」画

面にて公開)

〈地球協同社会へ〉

有益さ主張 www.jomaca.join-us.jp/chikyuu_fine.pdf

本文 (A4 19枚) www.jomaca.join-us.jp/chikyuu.pdf

国民国家の限界。数理哲学と物理哲学の限界。
資本制生産の限界。

今、これらの限界を理解し、規範と認識表現
と生産を、修正する。

この贈り物から、日本の、とくに民衆こそは、
歴史を拓く責任を、自覚せよ!!

なほ、本稿は、次の4本を、この間の貴重そ
のものの、諸経験を踏へ、久しぶりに、全面
更新いたしました。〈生産発達の本質〉(2015
年6月「店頭」画面) 〈調和社会へ〉(2006年6
月「理念集」画面) 「JOMONあかでみいと
いふ組織」(2014年3月〈健康平和研究〉画面)
「幹部候補生募集」(2014年2月同画面)。

地球において、市場拡張可能性 (いはゆる、
フロンティア) が、無くなりつつあります。(で
あるからこそ、世界経済フォーラムなどは、
「コロナ・ワクチン」や、「ウクライナ」な
ども、しかけたやうです。) かつて、鎖国に
より、市場拡張可能性を、人為的に断ちきつ
た、わが江戸時代の、日本列島内における、
創意工夫のあれこれに、これからの人間社会
全体が、学ぶべきものもありませう。

近い将来、米国も、中国も、衰退すると、考
へられます。

1789年フランス革命の光景や、1917年ロシア
革命の光景などを、将来に、追ひかけても、

健康平和研究22年第1章 歩み・根本転換へ 11

し方がない。人民ひとりひとりの、認識転換
と、行動転換を、推進する、民間からの、地道な事業こそが、正解なのです。

山田 学は、遺伝模様としては、凡人と、思
ひます。なにより、かの、ヒロシマ、ナガサ
キから、約10年後に、生誕を、いただいた。
当時の、社会状況こそが、〈地球協同社会へ〉
の理論に、帰結したと、考へます。わたしの
年代は、空想を含む、平和思想が、常識でし
た。〈地球協同社会へ〉の理論は、空想を、〈眞
智〉にした、努力です。今から思へば、わた
しは、さりげなく、最高の学問環境に、恵ま
れてゐた。(今の若い世代は、かはいさうに、
それが、欠乏してゐるのです。) 当然のこと、
実の父母による、わたしへの愛情も、あつた。
名古屋駅西方の、生誕地にあり、信長大先輩
や、秀吉大先輩の、努力に恥ぢぬ、全力奮闘
を、お誓ひ申し上げます。

わたしどもは、さしあたり、^{細文}JOMONあかで
みいと称する、任意団体です。超近代の、地
球協同社会へ。地球協同運動を、実行する。
やがては、ありうる地球公会へ、公会指導部
と、公的協会運営部に、分化してまゐります。
民間からの、〈まうひとつの公共〉です。マ
ルクスの時代から、ユダヤ民族などが志向し
てきた、「インターナショナル」とは、異質
論理の、いはば東洋流、地球協同運動です。
建築と運輸と金融と通信と提案を、ひろい意
味の〈交通〉と、呼びませう。まさに、資本
制社会が、〈交通〉をかなり、発達させた。

www.jomaca.join-us.jp 12

が、最後に欠落してゐるのが、地球協同社会への、ご提案なのです。

〈地球協同社会へ〉の理論は、前代未聞。が、山田 学の、9名の日本人師匠の、内実を、お知りいただければ、そして、9名師匠を、論理整理できたことを、ご確認いただければ、むしろ、無理なく、無駄なく、歩みを進めた上にての、自然な創造であると、ご納得いただけることとせう。不思議は、ありません。]

22.8.15.より

(や) [☆☆☆初心の想ひ☆☆☆]

JOMONあかでみいサイトは、なぜ、縄文なのか？ このサイトを立ち上げてから、17年近く、全面的には、ご説明できませんでした。命名に深く関係した、齋藤守弘先生 (1932～2017) の研究内容が、公刊されてゐなかつたからです。この度、羽仁 礼氏による、優れた編集にて、公刊された。ので、今月のJOMONあかでみいサイト「店頭」画面に、『考古学と民族学の盲点原始の普遍信仰について』を、公開し、このサイトの初心の想ひを、やうやく、ご説明することができました。

有益さ主張 www.jomaca.join-us.jp/genshi_fine.pdf
本文 (A4 6枚) www.jomaca.join-us.jp/genshi.pdf
わが日本から、齋藤守弘先生による、素敵な、知の創造が登場した。今の地球に、声を大にして、ひろめてゆきたいです。]

22.2.15.より

(や) [☆☆☆TQ、しませんか？☆☆☆今月のJOMONあかでみいサイトは、そもそも、弊サイトを起ち上げる、きつかけとなつた、わたしどものTQ技術について、久しぶりに、全面更新です。(「店頭」画面)

〈TQ、しませんか？〉

有益さ主張 www.jomaca.join-us.jp/tq_fine.pdf

本文 (A4 10枚) www.jomaca.join-us.jp/tq.pdf

この間の貴重そのものの、諸経験を踏へ、次の3本の、全面更新です。「TQ技術ご案内」(2011年9月)「TQ事業協会の根本方針」(2012年6月)「TQ禅問答」(2008年3月)。

TQ技術に着目することは、地球大転換に備へ、転ばぬ先の杖でせう。実に、30年近くかけ、神秘でない、合理性を、追究してまゐりました。将来への、あらゆる不安について、事前の論理解決を、なしました。今に可能な、有益さを、ご提供してまゐります。利益を、有効活用し、現場感性を、尊重する。

今までの至らなさを、お詫びしつつ、TQ技術運動の〈理念・規律・具体活動〉を、ご提示いたしました。

本格出発、いたします。

一定の意識転換さへ、あれば、行き詰りの地球、でない。なしうることが、あまりにも豊かな、地球です。

〈TQ技術運動の理念〉

〈氣功の工業化〉たる、TQ技術を活用し、日本人民と、地球人民に、今に可能な、有益さ

をご提供してゆく。21世紀の、〈酵素活性場〉応用として、個人から地球までの、新産業を興す。(健康・住居・食物流通・農業・環境)
〈TQ技術運動の規律〉

全人民ご自身が、自然治癒力を全開してゆかれることを、優先し、個人から地球まで、今に可能な、環境空間の調整により、看護させていただく。TQ技術運動に参画する、運動仲間(個人と団体)および顧客を、TQ事業協会と、総称させていただく。TQ技術運動の幹部が、TQ事業協会運営部を、組織する。TQ事業協会運営部長は、山田 学である。(次代に交替するまで。)〈酵素活性場〉〈生命促進性〉にあたる感性を、常識としてゐたらしい、縄文人のやうな人を、今に探し、尊重する。TQ技術運動に対する、今の社会なりの抵抗へは、柔軟に対応させていただき、無理なく、無駄なく、縮小していただく。TQ技術運動にて生じた利益は、TQ技術運動の拡張のため、有効活用する。健康平和な、現実の認識を、追究する。〈TQ処理〉工程は、事業機密です。

〈TQ技術運動の具体活動〉

ひろい方がたからの、自主的なご提案を尊重しつつ、〈TQ進化ひろば〉として、なめらかにやりとりしつつ、TQ事業協会運営部から、具体活動を、認可させていただきます。顧客と顧客に近い運動仲間の感性を、尊重しつつ、具体活動の修正を、〈TQ展開〉管理会議が、決定します。〈TQ展開〉は、顧客から、社会中枢へ、次を、考慮することです。普及対象

→普及方法→普及状態→製品開発→技能開発
→技術開発→学問開拓→法律改善→情報戦。
普及対象を、どうするか。普及方法を、どう
するか。実際の普及状態は、どうか。どうい
ふ製品を、開発していくか。(TQ象徴となる、
中心の製品開発と、周辺の製品構成。)〈TQ
処理〉した製品を、各種現場にて使ふ。(〈T
Q適用〉) それにあたり、人間において、ど
ういふ技能を、開発するか。各分野の専門技
術群、それらとも組合せ、どういふ技術開発
を、していくか。次の学問を、どう開拓する
か。TQ技術運動が、保護され推進されるやう、
法律改善を、どう実現していくか。TQ技術運
動に抵抗する、国際的な情報戦に、どう賢明
に、応戦していくか。

＊
TQ技術運動に、希望を感じずの方がたは、まづ、
〈TQ、しませんか?〉を、どんどん、どんど
ん、ひろめていただけませんか。]

22.9.15.より

(や) [☆☆☆ツイッター解禁☆☆☆すでに
一部の方がたへは、送信済のメールを、ここ
に、再録いたします。]

(この9月9日山田から送信したメール「〈T
Q進化ひろば〉:山田 学の“妥協” =つひ
に、ツイッター解禁!!」より)

〔ICT (情報通信技術) にて、より人間味あ
るやりとりを…

山田 学のこのこだはりは、半端でなく、

基本、SNSを拒否してまゐりました。
が、まだ、自力にて、理想のICTを開発で
きるわけでもない…
それで、現実問題、妥協いたします。
ツイッターぐらゐなら、許せるかなと、こ
の8月より、秘密裡に(笑)、あれこれ、実験
してまゐりました。
本日ここに、次の2本について、お報せい
たします。

(1) 〈TQ技術などが、棲みやすい社会へ、
変革してゆくために…〉

(ツイッター新アカウント)=不安脱出場
(山田 学) @yasuragie

<https://twitter.com/yasuragie>

(2) 〈TQ技術運動そのもののために…〉

(ツイッター新アカウント)=TQ展開 (山田
学) @tqtenkai

<https://twitter.com/tqtenkai>

常に本質追究の山田が、SNS特有の“雑然
性”に、少しずつ、適応してまゐります。(笑)
まあ、おひとりおひとりの暇つぶしにでも、
ご利用いただけますか…。むろん、真剣な
会話も、大歓迎。

なほ、以前からお話してゐる、〈TQ中央商
品〉のための新店舗サイトは、これらのツ
イッターから、リンクを張る予定です。]

(@yasuragieプロフィール)

〔SNSの、速報性も、いいね。

でも、ここでは、落ち着いた会話を…

地球人の、あらゆる不安?

それからの、脱出へ?

わたくしに、余裕ある限り、
協力いたします。

今、なに、不安してる?

(旧かな趣味)

#不安 #道徳 #悦び #沖ヨガ #冥想
#地球 #学び]

(@yasuragie固定ツイート)

〔わたくしどもの祈り = 〈悦びへの伝言〉
有益さ主張

http://jomaca.join-us.jp/dengon_fine.pdf

本文 (A4 5枚)

<http://jomaca.join-us.jp/dengon.pdf>]

(@tqtenkaiプロフィール)

〔次のあなたと、次の地球へ。

あなたも、TQ技術を展開する、その場に居
て、ひと息を、つきませんか?

山田 学と直に、お気軽会話。

(旧かな趣味)

#TQ技術 #ミトコンドリア #生命 #
場 #酵素 #氣功 #氣功 #薬石 #π
ウォーター]

(@tqtenkai固定ツイート)

〔動画1 (15:20) https://youtu.be/s_x4OHn7LI0

動画2 (25:25) <https://youtu.be/XUoEEiZeRho>

基礎文表紙

http://www.jomaca.join-us.jp/tq_fine.pdf

基礎文内容 (10枚)

<http://www.jomaca.join-us.jp/tq.pdf>

～TQ問ひかけ～(2枚)

<http://www.jomaca.join-us.jp/tqtoikake.pdf>

この問ひかけに、自由に、ことばにてお答へを、行動にてお応へを、いただけますか？]

(上記～TQ問ひかけ～本文) [TQ技術は、なにが、できる？ まづ、健康？ そして、住居？ 食物流通？ 農業など？ 環境調整？ 個人から、地球まで。あなたは、なにが、できると、感じますか？ 各分野の専門家は、それが、どうできるかと、興味をもつでせうか？

氣功の工業化。風水の工業化。薬石やくせきの人工生産。あなたは、どんな想像を、しますか？

とくに若い人、TQ技術を説明する、次の学問を、創りませんか？ これこそ、UFOや異星人を迎える、序の口の努めと、思ひませんか？ 今の科学に、とらはれない、縄文人が、TQ技術の本質、これを、土器や土偶の文様に、表明してゐた、のです。その原始感性にも、ひたりませんか？ 国宝「縄文のビーナス」は、最重要のことを、表明してゐる、のですよ。ともかく、TQ技術は、昔の「πウォーター」の、そのルーツです。この未来への可能性を、あなたが、開拓しませんか？ とくに若い人、TQ技術関連を、計測する、次の技術も、創りませんか？

TQ技術は、次の地球のために、あります。山田 学を、継承する、若い人は、どこにゐますか？

〈TQ中央商品〉を、どう育てていただけますか？ 個人向けから、地球向けまで。〈TQ自由商品〉を、開発、販売されたい方がたは、どこに、をられますか？ 〈TQ展開〉談義を、どう盛り上げあひますか？

飲食、皮膚接触、生活環境調整などを通し、人間の健康や美容に寄与する、〈TQ自由商品〉を？ 住居や乗物の快適性、それに寄与する、〈TQ自由商品〉を？ 食物の流通や調理、それらにおいて、健康性や効率性に寄与する、〈TQ自由商品〉を？ 農業・水産業・牧畜業・林業の、健康性と効率性に寄与する、〈TQ自由商品〉を？ それは、土壌改良・空気活性・水質改良・栄養調整・汚物処理などによる。環境浄化に寄与する、〈TQ自由商品〉を？ それは、汚泥処理、病原ウイルス・細菌への対応、有害電磁波・放射線への対応、精神安定への空間調整、その他による。神社や、仏閣の、氣品に貢献できる、〈TQ自由商品〉を？ 茶道や、華道などの、氣品に貢献できる、〈TQ自由商品〉を？ 地球の健康と平和へ、その象徴となる、〈TQ自由商品〉を？

〈TQ中央商品〉や、〈TQ自由商品〉のうちの、各種シール商品などは、とくに、〈酵素活性場ば〉や、〈生命促進性〉に、敏感な人びとのために、あります。自主的に、あらゆる場面にて、あれこれの、実験をしていただけますませんか？ さうして、山田 学自身が、想ひもよらないやうな、〈TQ自由

商品〉までをも、発想して、いただけませんか？ とくに、少年少女の、素朴な感性に、期待いたします。

古代中国の老子が言つた、「甘露」こそ、TQ技術と密接に、関係するのではないかと、少なくとも、TQ技術は、お酒の醸造のしくみなどと、密接に、関係するやうです。

TQ技術運動には、実は、どんな大商社も、経験したことがないほどの、総合性があります。近くに予想される、地球経済大転換後、次世代型の、根幹技術なのです。ICT(情報通信技術)の、次であり、ICTよりは、日本民族の感性に、なじみやすい。大企業ではなく、自主的な、個々人や、中小企業群の、連帯。これをこそ、創出しあひませんか？ 未来への、新しい挑戦です！

今まで、山田父子の資金繰りを、支へてくださったつた、沖縄、名古屋、関東その他の、すべての方がたに、感謝いたします。ここに、新たな理念整備のもと、本格出発させていただきます。

ご自由に、ことばにてお答へを、行動にてお応へを、いただけますか？]

(や) [山田 学の、ツイッター解禁に、ごゆるりと、おつきあひいただけますか。]